

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「次世代情報社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

Human centric デジタルツイン構築による新サービスの創出

3. 研究開発課題名

物理的接触の遠隔化によるレジリエントな社会の実現

4. 研究開発代表者名（機関名および役職は評価時点）

金広 文男（産業技術総合研究所 AIST-CNRS ロボット工学連携研究ラボ 連携研究ラボ長）

5. 評価結果

評点：B やや劣っている

総評：

本研究開発は、介護ロボットサービスにより、要介護者が可能な限り長い期間を自立した生活を送ること、および、介護者が大きな身体的・心理的負担を強いられることなく、質の高い介護サービスを提供することが可能な社会を目指すものである。提案する介護ロボットサービスは自立支援介護ロボットを中心とし、データプラットフォーム、および必要に応じて遠隔から介入することを可能とする遠隔介助プラットフォームから構成される。

探索研究においては、遠隔介護サービスの実現に必要な触覚センシング、および動作理解・再現の基盤技術開発と遠隔介護サービスの具体化検討を行ったことは評価できる。

一方、多数の技術の集合体である介護支援ロボット実現のために必要十分な性能や機能要件、および研究成果の社会に対する定量的・定性的な価値の評価手法の検討には、不十分な点が認められる。

今後は、基盤技術の拡張とともに、介護現場の具体的なニーズの把握、現場導入のシナリオ、および経済的に自立しうるビジネスモデルなど、社会実装にむけた研究開発が進展することを期待する。

以上